

災害ボランティア活動報告(No.50)

活動場所:宮城県亶理郡山元町作田山(被災農家:斎藤様の農地)

今回は、バス参加30名で、当日1名の方が体調不良でキャンセルでした。

夏休み最初の土曜でもあり、多くの申し込みがあるかと思っただけですが期待外れでした。前回の春休みは18名のキャンセル待ちがあったのですが、なかなか上手くいかないですね。参加者は高校生の女の子が多かったです。若い方は女性の方が元気ですね。人数は少なかったのですが元気一杯で活発でした。

災害ボランティア初めての方々ばかりでした。まあ、始めは震災ボランティアで被災農家の斎藤さんの所に来ている感覚でしたが、今では、災害にも負けない斎藤さんの不屈の精神、前向きな生き方に元気をもらいに来ている状況であり。農業体験に受け入れて頂いている感覚です。初めて被災地を訪れた方々は震災の遺構となっている中浜小学校を視察し、衝撃を受けたようでした。震災から5年4ヶ月が経ちますが時間が巻き戻ったように脳裏に浮かびます。自分が被災者だったらどうだろうかなど、色々考えさせられます。首都直下型地震など何時起こっても不思議ではないので、その時の心構えが出来るでしょうし、対策を考える良い機会になった事でしょう。

また、被災農家斎藤さんの農地での作業は、いかに農作物が手間暇かけて作られているか。汗水垂らして、大事に大事に作った野菜であり、その有りがたさが分かった子供達は食べ残したり粗末に扱わない事でしょう。



※今回、震災ボランティアに参加された皆様。斎藤さんの農地にて。



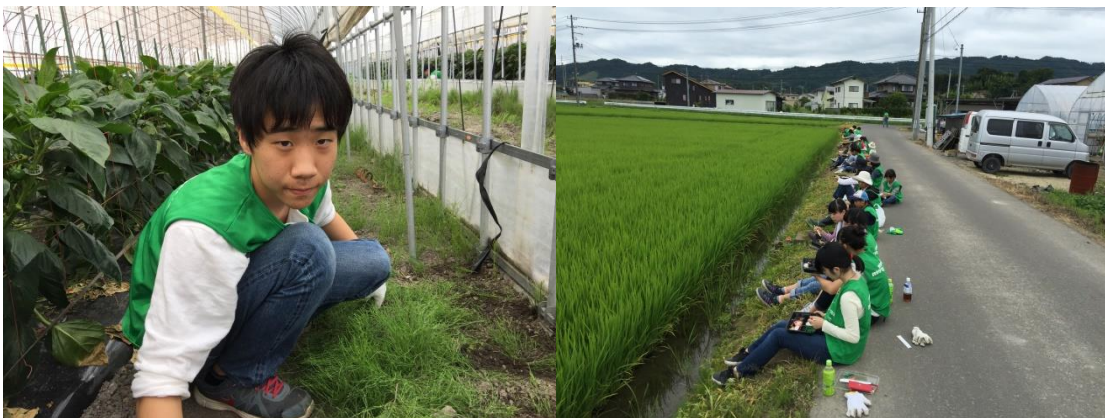
※中浜小学校、視察で震災の悲惨さが分かります。 ※震災直後の写真が展示されています。

活動内容:今回は、収穫前のパプリカのプラスチックリング付けです。実が大きくなると幹が倒れてしまうので、ネットに幹を取り付けるためのプラスチックリングです。



※ネットにパプリカの幹が固定され倒れるのを防ぎます。 ※プラスチックリングを取り付けている所。

※プラスチックリング付けを終えたら、周りの雑草取りです。ハウス内は除草剤や農薬が使えないので手作業で草むしりをします。



※草取り作業中です。

※お昼のお弁当。田圃の畦に腰掛けて。

【お知らせ。】※秋に収穫祭行います。

お昼休みのさい、斉藤さんから震災から 5 年以上経って、やっと家を建てて仮設住宅から出ることが出来るようになりました。との報告を受けました。

そして、いつもお世話になっているので新居で収穫祭（作った野菜と、地元の肉や魚でバーベキュー。）をしませんかとお誘いを受けました。

収穫時期の 10 月以降で、また来て下さいとのことでした。その時は、即答出来ませんでした。

なぜかと言うと、また、バス代が上がりそうなことと、夏休みでも人が集まらなくなってしまいましたので、赤字の場合費用を誰が負担するのか、などなどあったからです。

ですが、帰りのバスの中で盛り上がり。10 月以降収穫祭を行うことになりました。バスの予約なども有りますので、決まり次第ご連絡及び発表致しますので。ぜひ、皆様ご参加お願い致します。

以上